

令和8年度 三輪公民館運営審議会 開催概要

1 日 時 令和8年 6 月24日(火) 午後 2 時から午後 3 時 30 分

2 場 所 長野市立三輪公民館 1 階 学習室1

3 出席者 出席委員(9名)

藤田彰委員、清水正洋委員、山岸静子委員、丸山匡委員、
藤澤直子委員、柄澤恭子委員、久保友里恵委員、徳武知恵委員、
森田百合子委員

事務局(2名)

清澤清 三輪公民館長、 池田尚史 公民館係長

4 議 題 (1) 令和7年度 三輪公民館事業報告について(資料別添)

(2) 令和8年度 三輪公民館事業計画について(資料別添)

(3) その他

資料に基づき公民館長より説明が行われ、質疑応答後、提出議
題 について満場一致で承認された。

5 質疑内容

議題に対する質疑応答等は以下のとおり

(1) 令和7年度 三輪公民館事業報告について

(委員 A)

資料 12 p (7) に苦情対応という項目がある。実際にどういった苦情があったのか。

(公民館)

①学習室の床や机の上が汚れていた。電気の消し忘れなど

利用団体には使用後の掃除等をお願いしているが、利用団体の清掃不備や電気等の
点検を怠ったことによるもの。

②講座の受講者アンケート結果から、ごく稀に期待していた内容と相違して、講師の話
しが良くなかったというもの。

③講座を申し込んだが、定員に達していて申し込めなかった。

④駐車場の白線が見えなくなっている。白線を引いてほしい。

白線は懸案事項であった。早急に少ない消耗品予算から白色塗料のスプレー缶を数本購入し、綺麗な仕上がりではないが白線を引いた。

⑤年間を通して苦情はほとんどない。

(委員 A)

あまり苦情はないと理解した。

(委員 B)

小学校ではクラブ活動を実施。内容は学校内で行い、職員が携われること。実施できる内容が限定。運動一つとっても、子どもたちができることは限られる。もっと広がりがあると考えて、昨年は館長に「何か良い講座や良い講師を紹介してもらえますか」と相談したところ、講座や講師をご紹介いただいた。今年度も相談し、館長から講座や講師をご紹介いただき、感謝している。暑さもあり野外活動も限られてくるので、今年は年6回実施していたクラブ活動を年2回に減らした。今年度後半はこれから計画を立てる。館長からご紹介いただいた中からお願いできたら良いと考えている。

(公民館)

現在、ご紹介可能な講座や講師について検討中。本日出席の委員の中に公民館講座の講師がいらっしゃる。ここで紹介する。

山岸委員は「楽しい手芸」の講師。今月、6月の環境月間には、使わなくなった古い傘を利用してエコバッグを委員に制作いただき、図書室に展示。子どもの古いTシャツを利用したバッグ作り等もご協力いただいた。

久保委員は、成人学校「ボールペン字」の講師。教え方が優しく丁寧なので受講生の上達が早く、皆さんとても綺麗な字を書く。現在、エレベーター前に受講生の作品を展示中

森田委員は、フラワーアレンジメント等を制作体験する講座の講師。材料費の負担が課題であり、費用を抑えて実施できるかが焦点。

各委員は大変多忙な方々のため、まずは目ぼしい方にお声がけしていく。

(2) 令和8年度 三輪公民館事業計画について

(委員 A)

事業計画の単発講座数は、昨年の講座数と比べて少ない。理由は。

(公民館)

貸館予約システム導入に当たり、本館は駐車場が狭いという問題があるため、システム上で貸出しを調整する事務が必要になる。年度当初から仕事量の増加が見込まれた。このため、前半の単発講座は開催数を昨年比で抑えた。

ただし、システム稼働後は想定以上にシステムでのご利用が円滑に進んでいる。事務量は増えているが、後半に向けて、事業計画に示していない講座を計画・検討中。最終的には昨年と同様の講座件数になる見込み。

(委員 A)

予約システム導入に伴う仕事量の増加とは何か。

(公民館)

駐車場不足のため、駐車場が一杯になると想定された場合、学習室の貸出しを制限する必要があるため、職員はシステム上の予約抽選開始日前までに、使用制限登録（入力）を行う。また、抽選結果により駐車場利用台数が多い団体の予約が入った場合には、先着予約開始時間前までに、急遽、他の学習室の使用制限登録（入力）を行う。いくつかの学習室を貸出し制限するため、相当な入力時間を要す。システムの使い勝手も良くない。

データ管理だけでなく、システム導入前と同様に窓口でも予約受付するので、紙ベースの台帳も作成し、本システムと並行して貸館事務を進める必要がある。システム導入前は、紙ベースの管理のため、数秒で確認して対応できたものが今は十数分かかる。

ただし、事務量の増加は、駐車場問題や本公民館の「追加予約が可能になる2週間前予約ルール」が主な要因なので、このような問題がない公民館等では事務量が大幅に増加している状況ではないと思われる。システムの稼働によって利用者にとっては窓口へ来る必要がなく、オンラインで予約が完結するので、利便性が向上した。

(委員 A)

自治協では、昨年10月から各々、行事や活動を行ったらInstagramに写真付きで掲載するよう変更し、活動の見える化を図っている。公民館も講座等が終了したら、ホームページに活動の様子が分かる写真を掲載してほしい。

(公民館)

受講生の顔が分からないようにした上で、今後掲載する。

(委員 A)

マスクの着用については、もう不要ではないか。

(公民館)

マスクの着用はお願いしていない。ただし、熱がある方にはマスクを着用のお願いを現在も貼り紙を掲示して周知している。

(委員 A)

可能であれば、敷地内だけでなく、敷地の周りの道路の草取りについてもお願いしたい。みんなが自宅周辺の草取りをすれば、それがどんどん繋がって行って、道路がみんな綺麗になるのではないか。

(公民館)

承知した。定期的に周辺道路の草取りをしているが、より頻繁に行うようにする。

(委員 A)

全体を通じて、委員の皆様からご意見を伺いたい。

(委員 C)

子育てセミナーをもっと宣伝して、子どもたちをもっと集めてほしい。

(公民館)

今、いろいろな場所で子育てに関する講座が開かれている。コロナ禍の時と比べると開催場所が多くなり、選択肢が増えたため、申込者数が減っている。セミナーの周知に努めているが、増やすのは難しい。一方で申込者数が少ないということは、機会や場所が増え、社会的に子育て支援環境が向上しているとの見方もあり良いことと考える。

(委員 C)

公民館西側入口に置いてある看板「長野市立三輪公民館」の文字が消えかかっていると言われている。

(公民館)

4年前も消えかかっていて、文字を黒マジックで塗った。今年も同じようにマジックで塗りました。

(委員 D)

これからの時季は暑くなる。三輪公民館には休む場所も無いし、冷たい水が出る場所も無い。このような場所があれば良いと思う。

(公民館)

休憩部屋等があれば良いが、現状はない。以前、バス停が公民館前にあった頃は、暑い時季、バスが来るまで館内ロビーの椅子でお休みくださいと声掛けはしていた。

(委員 A)

災害時の避難場所として三輪小学校が指定されているが、三輪小学校だけでは狭い。三輪公民館も避難場所として開けてほしい。

(公民館)

三輪公民館は避難場所に指定されていないが、大きな災害が実際に起これば利用できるよう公民館は開けることになると思われる。

(3) そ の 他

特になし